

横浜に、秋を聴く。



## 紅葉の古建築公開

— 物語のある古建築 横笛庵、林洞庵

Historic buildings open to the public  
in autumn-tinted air

2013年11/23(土・祝)–12/15(日)

平家物語、忠臣蔵にゆかりの2棟の内部を、建物の沿革・由緒などとともに紹介。紅葉越しに三重塔を望む絶景が楽しめる内苑・聴秋閣奥の遊歩道もあわせて開放します。

## 菊花展

Chrysanthemum exhibition

2013年10/29(火)–11/23(土・祝)

共催：横浜菊花会、小菊盆栽芸術協会長生会

財団設立60周年記念特別展(近代日本画)

## 今村紫紅展—横浜のいろ

Special Exhibition "The Works of I MAMURA Shiko"

2013年11/2(土)–12/8(日)

国指定名勝

三溪園

SANKEIEN GARDEN

〒231-0824 横浜市中区本牧三之谷 58-1 TEL045-621-0634-5 ※お問い合わせの際は、番号をお間違えないようご注意ください。 <http://www.sankeien.or.jp>

58-1, Honmoku-sannotani, Naka-ku, Yokohama City 231-0824

●休園日=12/29-31 ●開園時間=9:00~17:00(入園は16:30まで) ●入園料=一般 ¥500(¥400)、子ども(小学生) ¥200(¥100) ※( )内の料金は、20名以上の団体料金

●交通=JR根岸線根岸駅からバスで10分、「本牧」下車、徒歩10分 / 横浜駅東口からバスで35分、「本牧三溪園前」下車、徒歩5分 / 桜木町駅からバスで25分、「本牧三溪園前」下車、徒歩5分 / みなとみらい線元町・中華街駅4番出口/バス停「山下町(タワー入口)」からバスで15分、「本牧三溪園前」下車、徒歩5分



# 紅葉の古建築公開

物語のある古建築—横笛庵、林洞庵

Historic buildings open to the public in autumn-tinted air

11/23(土・祝)—12/15(日)

平家物語、忠臣蔵にゆかりの2棟の内部を、建物の沿革・由緒などとともに紹介。紅葉越しに三重塔を望む絶景が楽しめる内苑・聴秋園奥の遊歩道もあわせて開放します。

## 横笛庵 よこぶえあん

建築 明治41(1908)年

奈良・法華寺からの移築ともいわれるが、由緒の詳細は不明。

平家物語に登場する女性・横笛の像が内部に置かれた(戦時中に消失)ことから、この名がある。横笛は、高倉天皇の中宮・建礼門院(平清盛の娘・徳子)に仕えた女性で、平家物語に清盛の従者・斎藤時頼(滝口入道)との悲恋が語られている。内部にあった像は、この横笛が時頼から寄せられた千束の恋文をもって自ら作ったといわれる自身の像といわれ、かつて「縁結びの像」として知られた。

## 林洞庵 りんどうあん

建築 昭和45(1970)年

宗偏流林洞会から寄贈された茶室。

内部に流祖・山田宗偏の揮毫による「林洞」の額が掲げられていることからこの名がある。山田宗偏は、忠臣蔵に登場する吉良上野介と茶を通じて交流があった人物。また、林洞庵が建つ前、同地には三溪が移築した寒月庵(かんげつあん)があった。この建物は、かつて赤穂藩出入りの江戸の豪商・川村伝左衛門が所有していた草庵で、元禄の頃(18世紀)大石内蔵助がたびたび遊んだと伝えられるものだったが、現存しない。

# 横浜に、秋を聴く。

## 菊花展 Chrysanthemum exhibition

10/29(火)—11/23(土・祝)

日本の秋を代表する花・菊花約500点を展示。大菊や懸崖・小菊盆栽などレパートリー豊かな世界が楽しめます。特に江戸時代から各地で改良、伝えられてきた古典菊は珍しく、見どころです。

共催：横浜菊花会、小菊盆栽芸術協会会長生会

### 菊花みどころトーク

種類や観賞のポイントなどを、初心者向けにわかりやすく解説します。

日時：期間中の土・日曜日

11:00・13:30・14:00・14:30(各回15分ほど)

※11/3(日)の11:00・13:30を除く。

料金：無料(入園料は別途必要です。)

会場：外苑・中央広場

※事前申込みは不要。ご希望の開始時間までに、直接会場にご集合ください。

### 苗の販売

期間：菊花展開催期間中の10:00-15:00

※売り切れの場合はご容赦ください。

場所：大菊 外苑中央広場・小菊 正門藤棚前



今村紫紅筆 原三溪宛絵葉書

財団設立60周年記念特別展

## 今村紫紅展—横浜のいろ

Special Exhibition "The Works of IMAMURA Shiko"

11/2(土)—12/8(日)

三溪園の創設者・原三溪は、製糸業・生糸貿易業で財を成した実業家であるとともに、多くの新進芸術家を支援した「芸術の Patron」としても知られる人です。本展では、その三溪の支援を受けた横浜出身の作家・今村紫紅を取り上げ、代表作を含む50点を紹介。それまでの日本画の流れに新風を吹き込みつつも30代で夭折したその作品には、どれも色彩や構図に新鮮な感覚がみなぎります。

料金：入園料(500円)のほかに特別展観覧料(500円)が必要です。

入園料 + 特別展観覧料セット券 800円(入口のみ販売)

こども(小学生)は、無料。(入園料のみ必要です。)

※横浜美術館との相互割引プラン…横浜美術館(横山大観展・下村観山展)と三溪園(今村紫紅展)相互のチケット提示により、一般(大人)料金が100円引きとなります。

会場：三溪記念館(三溪園内)

主催：三溪園/後援：横浜市/助成：公益信託ヨコハマ中区まちづくり本牧基金/

協賛：本牧まちづくり会議/協力：横浜美術館

## 三溪園をもっと楽しめるボランティアによる催し

### ◆秋の“一日庵(いちじつあん)” 炉ばた茶会

12/7(土) 10:30-11:00・11:00-11:30・11:30-12:00・12:00-12:30・13:00-13:30・13:30-14:00・14:00-14:30・14:30-15:00

会場：重要文化財 旧矢筈原家住宅(合掌造り)

定員：午前・午後各80名(先着順)

料金：¥500(菓子付き、入園料は別途必要です。)

※茶券は、当日10:00から茶席で販売します。(定員となり次第終了)

### ◆紅葉の自然観察会

11/30(土)・12/1(日) 各日 10:30-11:30 / 13:30-14:30

12/10(火) 10:30-11:30

集合：正門入口

定員：各回30名(先着順)

料金：無料(入園料は別途必要です。)

国指定名勝

三溪園

SANKEIEN GARDEN

〒231-0824 横浜市中区本牧三之谷 58-1 TEL045-621-0634・5 ※お問い合わせの際は、番号をお間違えないようご注意ください。 <http://www.sankeien.or.jp>

58-1, Honmoku-sannotani, Naka-ku, Yokohama City 231-0824

●休園日=12/29-31 ●開園時間=9:00~17:00(入園は16:30まで) ●入園料=一般 ¥500(¥400)、こども(小学生) ¥200(¥100) ※()内の料金は、20名以上の団体料金

●交通=JR根岸線根岸駅からバスで10分、「本牧」下車、徒歩10分/横浜駅東口からバスで35分、「本牧三溪園前」下車、徒歩5分/本牧町駅からバスで25分、「本牧三溪園前」下車、徒歩5分/みなとみらい線元町・中華街駅4番出口/バス停「山下町(グアノ入口)」からバスで15分、「本牧三溪園前」下車、徒歩5分